

## EUSI メールマガジン Vol. 055

### 「EU とウクライナの境界線と新欧州戦略」(羽場久美子)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)  
[http://eusi.jp/content\\_jp/aboutus/about\\_eusi/](http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/)

#### 【EUSI Commentary Vol. 040】

##### 「EU とウクライナの境界線と新欧州戦略」

羽場久美子 (青山学院大学国際政治経済学部教授)

昨今の欧州最大のニュースは、ウクライナ情勢の展開に加え、5月の欧州議会選挙で、イギリス、デンマーク、フランス、オランダ、ハンガリーなどで、極右ナショナリスト勢力が多数を占めたこと、6月に次期欧州委員会委員長がルクセンブルクの元首相、ジャン・クロード・ユンケルが選出され、イギリスとの軋轢が明らかになったこと。さらに続いて、8月末のEUトップの新しい人事として、意外にも、ポーランド首相ドナルド・トゥスクが次期欧州理事会議長に就任したという事実。およびEUの外交安全保障上級代表にイタリアのフェデリカ・モゲリーニ外相が選ばれるという、いずれも意味深い、EU内外情勢に対応した決定であった。

EUの3大人事の慎重な決定は、一つには、リスボン条約制定過程で拡大していた英独仏大国の主導権を小国にひき戻し、失業と雇用対策を中心とする経済回復に重点をシフトするという、それによって国内の不満と右傾化を調整すること、二つ目は、昨年来のウクライナの革命と軍事介入に対して、ウクライナ支援一辺倒から、ロシア融和をも視野に入れた慎重かつ複合的人事であったということ(ロシアに強硬なシロフスキー・ポーランド外相はむしろ退けられた)、さらにこの間西欧・北欧重視の布石が引かれていたことに対して、小国に加え、大きく東欧および東南欧重視の姿勢を示してバランスを保ったことである。こうした認識を、筆者はウクライナで繰り返し聞くこととなった。

この9月に筆者は、戦乱のウクライナ・キエフに1週間海外調査に出かける機会を得た。旧来、ハプスブルク帝国領であった西ウクライナにはしばしば出掛けていた。今回は可能なら、東部ウクライナにも調査に出掛けたかったが、8月のロシア軍・東部軍の大攻勢後の情勢の中で、それは叶わず、キエフにとどまった。キエフはデモや戦乱の後であったものの、比較的平穏であったが、東部戦線では、大きくロシア軍と東部軍に巻き返され、ウクライナ政府は劣勢に追い込まれ、1万人を超える死者が出ていることが、非公式に語られていた。9月5日の「ミンスク停戦合意」は、こうした東部軍の巻き返しとウクライナ政府軍の危うさから、ウクライナ政府が大きく譲歩した合意となった。

キエフに到着した日は、くしくも丁度、YESと略称される「ヤルタ・ヨーロッパ戦略国際会議」の11年目の開催レセプションが開かれているところであった。このYES会議はもともとクリミア・ヤルタで、オレンジ革命の1年前から始められたEUと密接に連携した政府間政治戦略国際会議である。今年はヤルタがロシ

ア軍に占拠されている中、キエフにウクライナ政治家のトップと、EU・ヨーロッパ・アメリカの重要首脳が集まり「新しいウクライナ、新しいヨーロッパ、新しい世界」と題し、物々しさと華やかさが同居する緊張感にあふれた会合が開かれていた。

参加者報告者は、ポロシェンコ大統領、ヤチェニウク首相はじめウクライナ内閣閣僚が勢ぞろいし・・・

・・・

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol40.pdf>

### 【EUSI イベントご案内】

#### 1. EUSI 政治プロジェクト講演会「ウクライナ危機と欧州の安全保障」

日時: 2014年10月9日(木) 16:30-18:00

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南館 B4 ディスタンスラーニングルーム

言語: 英語(通訳なし)

参加: 自由・無料 (事前予約不要)

"The Ukrainian Crisis and European Security"

(ウクライナ危機と欧州の安全保障)

講演: ジェフリー・ラーセン (NATO 国防大学研究部長)

ブルック・スミス＝ウィンザー (NATO 国防大学研究部研究員)

司会: 鶴岡路人 (防衛省防衛研究所主任研究官)

<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/20141009-politics/>

#### 2. EUSI 政治プロジェクト講演会「共同体化する欧州に対するドゴールの挑戦」

日時: 2014年10月16日(木) 16:30-18:30

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南館 B4 ディスタンスラーニングルーム

言語: 英語(通訳なし)

参加: 自由・無料 (事前予約不要)

"The Gaullist Challenge to EC Europe 1958-1969:

Constitutional Conflicts & Transformative Effects"

(共同体化する欧州に対するドゴールの挑戦、1958年-1969年: 統合をめぐる対立と変革への影響)

講演: フィリップ・バジヨン博士 (ケルン大学歴史学部・ジャンモネチェア)

司会: 細谷雄一教授 (慶應義塾大学法学部)

<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/20141016-politics/>

#### 3. EUSI ワークショップ「EU 基本権憲章と構成国への適用可能性」

日時: 2014年10月17日(金) 14:40-16:10

場所: 一橋大学国立東キャンパスマーキュリータワー5階 EUSI 事務局会議室 3503

言語: 英語

参加: 自由・無料 (事前予約不要)

講演: 「EU 基本権憲章と構成国への適用可能性: 単一化または連邦化への道？」

"The EU Charter of Fundamental Rights and Its Applicability to the Member

States - A Step towards Unitarisation or Federalisation?"  
フェルディナンド・ヴォレンシュレーガー (ドイツ・アウグスブルク大学教授)

司会: 中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 執行委員)  
<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/20141017-law/>

4. DESK 欧州研究セミナー「ヨーロッパのデモクラシーを再考する」  
(東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)主催・EUSI 共催)

日時: 2014年10月22日(水) 17:00-19:00  
場所: 東大駒場キャンパス 18号館4階 コラボレーションルーム1

書評: 網谷龍介、伊藤武、成廣孝編  
『ヨーロッパのデモクラシー』改訂第2版(ナカニシヤ出版、2014年)

参加者

著者: 網谷龍介 (津田塾大学教授)  
討論者1: 河崎健 (上智大学教授)  
討論者2: 高島亜紗子 (日本学術振興会特別研究員、東京大学大学院博士課程)  
司会: 森井裕一 (東京大学准教授、ドイツ・ヨーロッパ研究センター長)  
<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/20141022-politics/>  
<http://www.desk.c.u-tokyo.ac.jp/j/index.html>

5. EUSI シンポジウム「EU 環境法における現代的課題」

日時: 2014年10月28日(火) 10:50-16:50  
場所: 如水会館3F「富士の間」(東京都千代田区一ツ橋2丁目1-1)  
言語: 英語 (日英同時通訳あり)

参加: 事前登録が必要です。

1. 名前、2. 所属、3. レセプションの出欠をご記入の上、10月21日(火)までに EUSI 事務局 ([hit-u@eusi.jp](mailto:hit-u@eusi.jp)) までメールでお申し込み下さい。
- 問い合わせ先: EUSI 事務局 TEL:042-580-9117

開場 10:20 開始 10:50

10:50-11:10 開会挨拶、趣旨説明(EU 環境法の発展)  
Uli Wienrich (駐日 EU 代表部 貿易担当第一書記)  
中西優美子 (一橋大学教授)

11:10-12:00 基調講演  
「構成国における国内秩序における EU 環境法の実施: 挑戦と達成」  
Alexander Proelss (ドイツ・トリア大学教授)

12:00-12:30 コメント  
高村ゆかり (名古屋大学教授)、Andrea Ortolani (一橋大学非常勤講師)

12:30-13:50 昼食

13:50-14:20 「気候変動政策と WTO との整合性」 森田清隆 (経団連主幹)  
14:20-14:50 「オース条約と環境影響評価指令」 南諭子 (津田塾大学准教授)  
14:50-15:20 「EU 水管理と非 EU 構成国」 佐藤智恵 (明治大学専任講師)

15:20-15:40 休憩

15:40-16:10 「生物多様性と生息地指令」

Sara De Vido (イタリア・サ・フォスカリ・ヴェニス大学准教授)

16:10-16:50 「福島後の原子力安全と原子力損害補償の課題と見通し」

川崎恭治 (一橋大学教授)

<http://eusi.jp/outreach/conference-symposium/20141028-sympo/>

#### 6. EUSI ワークショップ「EU 環境法の原則: 評価」

日時: 2014年10月30日(木) 10:35-12:05

場所: 一橋大学国立東キャンパスマーキュリータワー5階 EUSI 事務局会議室 3503

言語: 英語

参加: 自由・無料 (事前予約不要)

講演: 「EU 環境法の原則: 評価」

"Principles of EU Environmental Law: An Appraisal"

アレクサンダー・プレルス (ドイツ・トリア大学教授)

討論:

サラ・デ・ヴィドウ (イタリア・サ・フォスカリ・ヴェニス大学准教授)(予定)

中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 執行委員)(司会兼)

<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/20141030-law/>

#### 7. 日本学生支援機構及び駐日 EU 代表部より「2014年海外留学フェア」ご案内

明日9月27日(土)、お台場の東京国際交流館 プラザ平成にて「2014年海外留学フェア」が開かれます。

EUからは駐日 EU 代表部、また EU 加盟国からも英・伊・独・ハンガリー・フィンランド・仏・ポーランドより留学担当機関の担当者や現地に留学していた先輩方による説明会が開かれます。ご関心のある方はぜひ御参加ください。

日時: 2014年9月27日(土) 11:00-17:00

会場: 東京国際交流館 プラザ平成 (東京都江東区青海 2-79)

対象: 留学希望者、関係者などどなたでもご参加いただけます

参加: 自由・無料 (事前予約不要)

参加機関 (ヨーロッパ関連)

EU: 駐日欧州連合代表部「Erasmus+」

イギリス: ブリティッシュ・カウンシル (British Council)

イタリア: イタリア文化会館 (Istituto Italiano di Cultura)

ドイツ: ドイツ学術交流会 (Der Deutsche Akademische Austauschdienst)

ハンガリー: 駐日ハンガリー大使館

フィンランド: フィンランドセンター (The Finnish Institute In Japan)

フランス: Campus France (フランス政府留学局・日本支局)

ポーランド: 駐日ポーランド共和国大使館

国・地域別留学セミナー (ヨーロッパ関連)

イギリス: 「英国留学の魅力」

イタリア: 「イタリア留学のすべて」

ハンガリー:「ハンガリーの高等教育とハンガリーでの生活について」  
フランス:「フランス留学・留学資金」  
ポーランド:「ポーランドでの留学」

テーマ別留学セミナー (ヨーロッパ関連)

EU:「ヨーロッパに留学しよう! EUの留学プログラム「Erasmus+」の紹介」

公式 HP:

[http://www.jasso.go.jp/study\\_a/info\\_fair.html](http://www.jasso.go.jp/study_a/info_fair.html)

## 【EUSI からのお知らせ(イベント以外)】

### 1. 広報関係のお知らせ

EUSI では、一昨日 9月24日よりホームページリニューアルいたしました!

これまでの HP では、巻頭エッセイ「EUSI Commentary」のみの掲載でしたが、新しくなった HP では、これまでの EUSI メールマガジンのバックナンバー全文が掲載されることになりました。

またそれに合わせ、先日より EUSI の Facebook も開設いたしました。

その他 EUSI では、関連枠組として一橋大学大学院 EU 研究共同プログラムの HP とブログが開設されています。ブログでは結構頻繁に情報発信をしています。また、EUSI 内の研究クラスターのひとつである政治プロジェクトでも、研究会・講演会ご案内用の HP ならびに twitter が用意されています。

皆様併せてご活用ください。

EUSI HP:

<http://eusi.jp/>

EUSI Official Facebook:

<https://ja-jp.facebook.com/eusitokyo>

一橋大学大学院 EU 研究共同プログラム HP:

<http://www.law.hit-u.ac.jp/graduate/eu/>

一橋大学大学院 EU 研究共同プログラムブログ:

<http://eublog.law.hit-u.ac.jp/>

EUSI 政治プロジェクト HP:

<http://eusi-politics.tumblr.com/>

EUSI 政治プロジェクト twitter:

[@eusipol](https://twitter.com/eusipol)

## 【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

田中俊郎 (EUSI 理事、慶應義塾大学名誉教授)

「EU の首脳人事はどのように決まるのですか?」

駐日欧州連合代表部『EUMAG』(2014年9月22日)

<http://eumag.jp/question/f0914/>

## 【EU に関するニュース】

2014年9月1日 オランダ仏大統領・ドラギ ECB 総裁会談、低インフレと低成長の問題性重視、成長必要性で一致

2014年9月2日 EU 海軍部隊ランド司令官、日本の第151連合任務部隊大川司令とアデン湾海賊対策で意

見交換

- 2014年9月2日 EU報道官、イスラエルのヨルダン川西岸での新たな土地接取を非難する声明
- 2014年9月3日 欧州委員会、ロシアのEU農産物禁輸措置に対しCAP販促計画と追加的支出による中期的支援決定
- 2014年9月3日 欧州委員会、対ロ追加制裁発表。金融・防衛・軍民両用物資・機密技術へのアクセスなど
- 2014年9月3日 欧州委員会、サムスン社ら4社の「スマートカード」チップのカルテルへ1.38億ユーロ制裁金
- 2014年9月3日 EU報道官、イスラーム国による米国人ジャーナリストS・ソトロフ氏殺害を非難する声明
- 2014年9月3日 Eurostat、7月小売売上高(季節調整済)はユーロ圏18カ国で前月比-0.4%、EU28カ国も同-0.4%
- 2014年9月4日 ECB政策理事会、3つの政策金利全て0.1ポイント引下げ。主要政策金利は過去最低水準の0.05%
- 2014年9月4日 ベルギー研究機関Bruegel、ユンカー次期欧州委員会への政策提言「EU to DO 2015-2019」発表
- 2014年9月4-5日 NATO首脳会合、英ウェールズで開催。ロシア非難やウクライナ支援、即応性行動計画等採択
- 2014年9月5日 ユンカー次期欧州委員長、レンツィEU理事会議長(伊首相)に対して欧州委員候補者リスト提示
- 2014年9月5日 欧州委員会、エボラ出血熱対策として西アフリカ4カ国に対して1.4億ユーロの資金提供発表
- 2014年9月5日 ウクライナ政府と親ロ派武装勢力、停戦合意成立。EU、合意歓迎と全当事者の遵守求める声明
- 2014年9月5日 Eurostat、4-6月実質成長率(季節調整済)はユーロ圏18カ国で前期比同、EU28カ国で同0.2%
- 2014年9月5日 2019年欧州文化首都予定の伊とブルガリアより、ブルガリアからはプロヴディフ市が最終選出
- 2014年9月5日 シュヴァイスグート駐日EU大使、離任メッセージ発表、次期駐中国EU大使として赴任へ
- 2014年9月5日 駐日EU代表部、ハットウェル新駐日EU公使とカラビペリス新科学技術部部長の就任を発表
- 2014年9月7日 英サンデータイムズ紙、世論調査でスコットランド独立賛成派51%と、初めて反対派上回る
- 2014年9月8日 欧州委員会、スコットランド独立の場合はEU脱退し再加盟申請必要との見解表明
- 2014年9月8日 駐日EU代表部、ヴィオレル・イスティチョアイア＝ブドゥラ新駐日EU大使の就任を発表
- 2014年9月8日 ファン＝ロンパイ議長、EU理事会による対ロ追加制裁措置の採択を受けて声明発表
- 2014年9月8日 欧州委員会、ロシアのEU水産物禁輸措置に対し欧州海洋漁業基金(EMFF)からの漁業支援を準備
- 2014年9月8日 欧州委員会、西アフリカにおけるエボラ出血熱の発生に対する支援(ASEOWA)に500万ユーロ拠出
- 2014年9月9日 姜錫柱・北朝鮮朝鮮労働党書記、ブロック欧州議会外交委員長と会談、非核化や人権など協議
- 2014年9月9日 EU、イラクのアバディ新政権発足を歓迎する声明発表
- 2014年9月10日 ユンカー次期委員会欧州委員発表。7人の副委員長の下にプロジェクトチームを指揮する体制
- 2014年9月10日 欧州委員会、ロシアのEU農産物禁輸措置に対する支援措置を停止、不均衡な損害請求など露見
- 2014年9月11日 EU理事会、対ロ追加制裁措置を決定。ロ国営銀行5行への融資禁止やEU渡航禁止を119名に拡大
- 2014年9月11日 欧州委員会、紛争の影響を受けているウクライナの人々に対し2200万ユーロを拠出
- 2014年9月11日 ECB、9月月報でアベノミクス特集。金融・財政政策は一定の効果も成長戦略は遅れ気味と論評
- 2014年9月12日 EU・ロ・ウクライナ三者閣僚会談、EU・ウクライナ連合協定の実施に関する共同閣僚声明発表
- 2014年9月12日 Eurostat、7月鉱工業生産(季節調整済)はユーロ圏18カ国で前月比+1%、EU28カ国で同+0.7%
- 2014年9月15日 EU米仏独英、アイスランド商業捕鯨反対のデマルシュ(外交的申し入れ)を同国政府に提出
- 2014年9月15日 Eurostat、7月対外貿易収支(速報値)はユーロ圏18カ国で212億、EU28カ国で同17億ユ

一口黒字

【編集後記】

今回の巻頭エッセイは、青山学院大学の羽場久美子教授に執筆していただきました。羽場先生のご活躍については改めて述べる必要はないでしょう。この9月にウクライナへ調査に行かれた経験とその成果を早速披露していただきました。生々しい臨場感あふれるエッセイとなっています。特に、ウクライナとEU・NATOによる現状認識のずれ、あるいは相互理解の微妙な食い違いが指摘されています。こういう感覚は現地に行かないとなかなか感じる事ができないものですし、また、公式の会議の場ではなく、非公式のインタビューの機会などで入手できる情報が重要になってくるのかもしれませんが。このエッセイでは、新しいEUの幹部人事とその意味(新しい欧州の戦略)についても鋭い指摘がなされていて参考になります。これについても現地調査の成果が活かされていて、改めて現場感覚、現地調査の必要性を実感しました。EUSIでも、学生にEUの問題を教えるときに、理論や制度から入るのがいいのか、現実の問題から入るのがいいのかということが常に議論されてきました。今後のEU教育についても示唆するところが大きいと思われまます。

(藤川哲史・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

2012年4月25日に第1号を配信したEUSIメールマガジンですが、当時の購読者数は107名でした。その後順調に購読者数も増え、第30号(2013年7月)で200名を突破し、1年後の第50号(2014年7月)で324名、現在は354名の皆様に読んでいただいております。

当初はEUSIのHP上には巻頭エッセイだけを掲載していましたが、次第にメールマガジンのバックナンバーを見れるようにしてほしいとの声を頂くようになり、2013年5月の一橋大学での日・EUフレンドシップ・ウィークでは、これまでのEUSIメールマガジンバックナンバー全号を展示するなど、地味ながらも広く読んでもらえるものを目指してなんとかここまで続けてきました。今回EUSIのHPリニューアルにあたり、EUSIメールマガジンもバックナンバーを掲載するようになりました。これまで配信したメールマガジンは各号それぞれ思い出深いものがありますが、その中でも個人的に思い出深いのは、やはり第16号(2012年12月)EUノーベル平和賞受賞について慶應の田中俊郎先生による巻頭エッセイを受賞式その日当日に配信できたことや、第21号(2013年3月)のポーランドの国境線の変遷の歴史に関する津田塾大学の吉岡潤先生のエッセイなどは、読み物としてもとても興味深いものでした。また時には学生によるサマースクールやスカラシップ報告をお送りしてありますが、第20号のEUドナウ河地域戦略に関する一橋大学の瀬古雄佑さんのエッセイや、第39号のバルカン・ナショナリズムに関する津田塾大学の上神弥生さんのエッセイなどは、特に読み応えのあるものでした。今後も世の中に問うべきEUに関する論考や情報を発信できるように努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

---

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo  
〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局  
TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての  
問い合わせにつきましてはこちら  
E-mail: info@eusi.jp

---